

■ 2024.1.26 (金) 13:00 ~ 16:50
(開場 12:30)
■ いわき芸術文化交流館アリオス 中劇場

分析が拓く未来

PROGRAM

13:00 ~ 開会挨拶

ビデオメッセージ

JAEA 理事長 小口 正範

国際原子力機関 (IAEA)

事務局長 ラファエル・マリアーノ・グロッシ氏

& IAEA 分析ラボにおける取組みの紹介

招待講演「“分析が拓く未来”をどう描くのか」

公益財団法人日本分析センター

品質・情報管理部長兼人財育成・研修センター長 太田 智子氏

13:35 ~ 基調報告「福島復興に向けた研究開発」

JAEA 福島研究開発拠点 所長 宮本 泰明

休憩 (15分)

若手研究者による成果報告

14:20 ~

セッション概要

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 副センター長 駒 義和

・ALPS 処理水第三者分析の実施及び信頼性確保に向けて

JAEA 大熊分析・研究センター 分析部 乾 実紗希

・放射性廃棄物の性状把握に向けた分析技術の開発

JAEA 大熊分析・研究センター 分析部 田中 康之

・原子炉建屋に滞留する汚染水中の放射性物質を明らかにする

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 放射性物質マネジメントディビジョン 二田 郁子

セッション1
ALPS 処理水・廃棄物



15:05 ~

セッション概要

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 副センター長 小山 真一

・炉内に堆積した燃料デブリの性状に迫る

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 燃料デブリ研究ディビジョン 池内 宏知

・燃料デブリ中の微量核種の効率的な分析を実現

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 燃料デブリ研究ディビジョン 風間 裕行

・過酷環境の「その場」で α ダストを測定

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 燃料デブリ研究ディビジョン 坪田 陽一

・レーザーによる燃料デブリの「その場」分析

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 遠隔技術ディビジョン 狩野 貴宏

セッション2
燃料デブリ



16:00 ~

セッション概要

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 環境影響研究ディビジョン長 飯島 和毅

・福島で生まれた放射線計測技術を防災へ

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 環境影響研究ディビジョン 佐々木 美雪

・植物が放射性物質を蓄積する仕組みを明らかにする

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 環境影響研究ディビジョン 土肥 輝美

・測定が難しい放射性核種を迅速かつ簡単に測る

JAEA 廃炉環境国際共同研究センター 環境影響研究ディビジョン 松枝 誠

セッション3
環境回復



16:45 ~ 閉会挨拶

JAEA 理事兼福島研究開発部門長 舟木 健太郎